

令和4年度から使用する中学校用教科用図書（社会（歴史的分野）） の調査・研究について

1 調査研究の観点

生徒や地域の実態を踏まえ、本市の教育課程編成基準に示した広島市が目指す子供の姿の実現を目指し、以下の観点で調査・研究すること。

< 基礎・基本の定着 >

- 教科の基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる上での創意工夫がなされているか。

< 主体的に学習に取り組む工夫 >

- 生徒の学習意欲を高めるとともに、体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習を取り入れ、自ら学び、自ら考える力の育成を図る工夫がなされているか。

< 内容の構成・配列・分量 >

- 学習指導を効果的に進める上で、適切な内容の構成・配列・分量となっているか。

< 内容の表現・表記 >

- さし絵・地図・図表などの資料等が、有効に使われるよう配慮されているか。

< 言語活動の充実 >

- 調べたことをまとめて発表する学習を取り入れる等、言語に関する能力の育成を図る工夫がなされているか。

2 記述に当たっての留意点

- (1) 各種目別に全発行者の教科用図書について記述し、特徴を一覧表にすること。
- (2) 具体的な事例をあげるなど、各教科用図書の特色を浮き彫りにするよう工夫すること。
- (3) 単に、一般的な感想又は見解及び優劣について述べることを避け、客観的に明らかにし
得る事柄を述べること。
- (4) 種目別に配列し、同一種目内の記載順は、「中学校用教科書目録（令和3年度使用）」に示してある発行者番号の順によること。

**令和４年度から使用する中学校用教科用図書（社会（歴史的分野））
の調査・研究の進め方について**

1 調査・研究の手順

- (1) 各教科の目標を確認し合う。
- (2) 令和２年度の調査・研究報告書を確認する。
- (3) 本市の実態や生徒の状況について話し合う。
- (4) 調査・研究の観点について、具体的にどのような視点を設定するか協議する。
- (5) 設定した視点に基づき、各観点の調査・研究を行う。
- (6) 調査・研究した結果を報告書にまとめる。
- (7) 代表者は、採択審議会に報告する。

2 報告書の作成にあたって（記述に当たっての留意点）

- (1) 各種目別に全発行者の教科用図書について記述し、特徴を一覧表にすること。
- (2) 具体的な事例をあげるなど、各教科用図書の特色を浮き彫りにするよう工夫すること。
- (3) 単に、一般的な感想又は見解及び優劣について述べることを避け、客観的に明らかにし得る事柄を述べること。
- (4) 記載順は、「中学校用教科書目録（令和３年度使用）」発行者番号の順によること。
- (5) 表記の仕方については、教科書（または県教育委員会の選定資料）にならうこと。
- (6) 別紙様式を基に、ワードソフトを使用し、USBに保存すること。なお、データの管理には留意すること。

3 日 程

第１回調査 ８月２日（月）１４：００～１６：４５